

減災に係る取組の進捗管理表

事 項		(設定時期) 目標年度	実施予定	実施する機関					状況	三次市		安芸高田市		広島県		気象台		中国地整	
				三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組																			
■大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）の更新																			
1	・大規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時を考慮したタイムラインの更新	A, B	(H30年度) 令和7年度						実施状況 今後の予定	—		—			—			タイムラインに内水の影響を反映するため検討中 令和7年度中に検討予定	— R7年度
	1 ・内水タイムラインの検討・見直し		(H30年度) 令和7年度	随時	○	○	■	○	●	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	H30年度	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	随時	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	随時	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	H30年度	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映 必要が生じた場合に更新	H30年度
	2 ・複合災害や夜間・荒天時などをタイムラインに反映		(H30年度) 令和7年度	随時	●	●	●	●	●	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	「江の川上流水害タイムライン検討会」において、大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の見直しを実施 引き続き出水期後に振り返り検討会を実施	H30年度
	3 ・大規模氾濫のタイムラインの検討・見直し		(H30年度) 令和7年度	随時	○	○	○	○	●	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	「江の川上流水害タイムライン検討会」において、多機関連携型タイムラインの見直しを実施 引き続き出水期後に振り返り検討会を実施	R1年度
	4 ・多機関連携型タイムラインの検討・見直し		(令和元年度) 令和7年度	随時	●	●	●	●	●	実施状況 今後の予定									
2	・住民が安全に避難するための避難指示等の発令基準の見直し・避難誘導体制の検討	C, D, E	(H30年度) 令和7年度						実施状況 今後の予定	—		—						内水を含めた多段階浸水想定図を検討中 令和7年度中に検討予定	— R7年度
	1 ・内水位の被害想定・情報提供基準の検討		(H30年度) 令和7年度	令和4年度～	○	○	■	■	●									協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施 継続	随時
	2 ・大規模氾濫の避難指示等発令基準の事例などの技術支援		(H30年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●									協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施 引き続き次年度出水期までに実施	毎年
	3 ・避難誘導計画の事例提供・技術支援		(H30年度) 令和7年度	随時	■	■	○	■	●									個別避難計画作成支援ツールをHPで公開	R4年度
	4 ・避難指示の発令基準の見直し（大規模氾濫・内水）		(H30年度) 令和7年度	随時	●	●	○	○	○	実施状況 今後の予定	避難情報に関するガイドラインの改定に併せて、避難指示の発令基準を見直し	R3年度	避難情報に関するガイドラインの改定に併せて、避難指示の発令基準を見直し	随時				発令判断に必要な防災気象情報の解説を実施	随時
3	・避難誘導体制の検討		(H30年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	避難行動要支援者の避難誘導体制について、自主防災組織や消防団と連携して検討	R2年度	自主防災組織と連携して、避難誘導体制を検討（呼びかけ体制構築等）	随時				継続	
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域避難所）	G, H, I	(R1年度) 令和7年度						実施状況 今後の予定									浸水想定区域図公表	H28年度
	1 ・国管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表公開・周知		(H28年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●									県管理河川の洪水浸水想定区域図公表	R3年度
	2 ・広島県管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表公開・周知		(R1年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●									土砂災害警戒区域の公開・周知	H28年度
	3 ・土砂災害警戒区域等の公開・周知		(R1年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●									避難所検討の事例提供・技術支援	H29年度
4	・避難所検討の事例提供・技術支援		(H30年度) 令和7年度	随時	■	■	○	■	●									避難所検討の事例提供・技術支援	H29年度
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の抽出		(H29年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	浸水想定区域内の要配慮者利用施設の抽出 浸水想定区域内の施設数及び避難計画策定済の施設数の共有	H28年度	浸水想定区域内の要配慮者利用施設の抽出 浸水想定区域内の施設数及び避難計画策定済の施設数の共有	H28年度					
	・避難所等の検討（応急的な避難場所の検討）		(R1年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	避難所の根本的な見直し、避難所整備のための交付金の新設	H30年度	浸水時緊急避難施設の選定	H28年度					
	・内水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	G, H, I	(R1年度) 令和7年度						実施状況 今後の予定										
	1 ・過去の内外被害や地形データ等の資料提供		(H30年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								過去の内水被害の資料提供 引き続き必要が生じた場合に情報提供	随時
5	・土砂災害警戒区域等の公開・周知		(R1年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								土砂災害警戒区域の公開・周知	H28年度
	・避難経路等の検討		(R1年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	避難経路について、自主防災組織と連携して検討（図上訓練を通じて検討）	H30年度	避難経路について、自主防災組織と連携して検討（MAP作りなどを通じて検討）	継続実施					
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援	L, M	(H29年度) 令和7年度まで順次実施						実施状況 今後の予定									協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施 継続	随時
	1 ・気象情報の活用に係る技術支援		(H29年度) 令和7年度まで順次実施	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援 浸水想定区域内（想定最大）の要配慮者施設数、避難確保計画の作成、避難訓練実施の施設数及び未作成の施設を整理	R5年度
	2 ・水害（土砂災害・内水含む）に係る技術支援		(H30年度) 令和7年度まで順次実施	随時	■	■	○	■	●	実施状況 今後の予定								洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援 浸水想定区域内（想定最大）の要配慮者施設数、避難確保計画の作成、避難訓練実施の施設数及び未作成の施設を整理	H29年度
6	・策定全体に係る調整及び技術支援		(H29年度) 令和7年度まで順次実施	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	要配慮者利用施設避難確保計画策定支援	H29年度	要配慮者利用施設避難確保計画策定支援	H29年度					
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	F, G	(R2年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	土砂災害ハザードマップの作成 Web版ハザードマップの作成 ため池ハザードマップの作成	H29年度 R6年度予定	Web版ハザードマップの更新	R4年度					
■住民の避難行動を支援する防災情報の提供																			
7	・関係機関による内水被害状況の共有（メーリングリスト作成）	N	(R1年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度		関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度
	・広域避難や事前水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライン）等の実施	B, N	(H30年度) 令和7年度	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								洪水予報発表の際に6時間先までの水位予測情報を提供開始、水害リスクラインを一般公開	R3年度
8	・緊急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信	J, K	(H29年度) 令和7年度まで継続実施	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								緊急速報メールを活用した住民への情報提供を洪水予報に合わせて実施 今後も洪水予報に合わせて発信	H28年度
	・気象情報発信時の「防災気象情報」の各種改善	A	(H29年度) 令和7年度まで継続実施	随時	■	■	■	■	●	実施状況 今後の予定								顕著な大雨に関する気象情報の改善（これまでより30分程度前倒しで発表）を実施 継続	R5年度
9	・避難情報伝達手段の普及促進	J, K	(H28年度) 令和7年度まで継続実施	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	多様な情報伝達手段の整備	H28年度	多様な避難情報の伝達手段（お太助フォン、緊急速報メール、市公式LINE等のSNS）について普及促進	随時					
	・SNSを活用した情報提供等	A, B	令和7年度まで継続実施	随時	●	●	●	●	●	実施状況 今後の予定	防災メール等により実施 防災メール、市公式SNS、サイレンの活用	H28年度	市公式LINE、Facebook、X(旧：Twitter)等の活用	H28年度	防災メール等により実施 防災メール、県防災X(旧：Twitter)の活用	H28年度	気象庁本庁で実施中	H28年度	洪水予報、水防警報等により実施 X(旧：Twitter)を用いた洪水時の河川情報や道路情報などの提供を実施 今後もSNSを活用した情報提供を実施
10	・関係機関による内水被害状況の共有（メーリングリスト作成）	N	(R1年度) 令和7年度	随時	●	●	■	■	●	実施状況 今後の予定	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度		平時の普及啓発を中心に運用方法を検討中	R6年度

減災に係る取組の進捗管理表

減災に係る取組の進捗管理表										●：実施主体　○：技術支援・共同実施		実施済・継続実施含む		取組中		未実施		資料1									
具体的な取組の柱		(設定時期) 目標年度	実施予定	実施する機関					状況	三次市		安芸高田市		広島県		気象台		中国地整									
事　項	取組内容			三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期								
②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組																											
■河川管理施設を最大限活用するハード・ソフト対策の促進																											
13	・近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備・ 下能力の維持管理	W	(R2年度) 令和7年度	随時					●	実施状況										堤防整備（三次市門田地区） 樹木伐採・河道掘削（寺戸地 区、島敷地区、南畑敷地区、 十日市西地区、十日市地区）	R2年度						
										今後の 予定																	
14	・ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による 効果的な土師ダムの運用を実施	M	(R2年度) 令和7年度	随時					●	実施状況									気象庁と連携して雨量予測技術の 開発を進める等、洪水予測 やダム流入量予測の精度を 向上させ、ダム管理の高度化 を図る	R7年度							
										今後の 予定																	
15	・避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施	N, R, S	(H30年度) 令和7年度	随時	●	○	○		●	実施状況	出水時には、排水ポンプの運用 を実施	H28年度	樋門管理者等による開閉の実 施	随時	国において排水能力が増強さ れた島敷救急内水排水機場 （一級河川江の川水系馬洗 川）の移管 R5.5排水ポンプ車を配備 上記排水機場の管理	R5年度		排水ポンプ車カマ場等整備 （常友岩の城排水樋門）	H28年度								
										今後の 予定																	
16	・危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供	N	(H30年度 ～R2年度) 令和7年度	随時					●	実施状況									危機管理型水位計を7箇所 設置 危機管理型水位計の水位情報の 配信	R5年度							
										今後の 予定																	
17	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	P, S	(H30年度) 令和7年度	随時					●	実施状況									樋門の電動化（上原、上本町 排水樋門）	H28年度							
										今後の 予定																	
18	・河川管理の高度化の検討	O	(H30年度) 令和7年度	随時					●	実施状況									UAV（ドローン）を活用した 河川監視の運用、三次元管 内図作成	R5年度							
										今後の 予定																	
19	・簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供	N	(R1年度) 令和7年度	随時					●	実施状況									簡易型河川監視カメラを30 箇所整備 簡易型河川監視カメラ画像の 配信	R5年度							
										今後の 予定																	
■避難行動を支援する効果的な河川巡視・水防活動																											
20	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互 支援方法の確認	Q	(H29年度) 令和7年度まで継続 実施	随時	●	●	●		●	実施状況	備蓄水防資機材情報は、消防 団等と共有 非常時における相互支援方法 は、「災害時の相互支援に関 する協定書」に基づいて、県 内市町村と確認	H28年度	備蓄水防資機材情報は、消防 団等と共有 非常時における相互支援方法 は、「災害時の相互支援に関 する協定書」に基づいて、県 内市町村と確認	随時	水防計画に備蓄水防資機材 情報を掲載・公表	H28年度		災害対策計画に備蓄水防資 機材の掲載・公表 水防連絡会にて備蓄資機材情 報の共有	H29年度								
										今後の 予定																	
21	・局所的に低い堤防等の事前水防活動		O, P	令和7年度まで順次 実施	随時				●	実施状況										自治体及び水防団との重要水 防箇所の合同点検を実施 引き続き次年度出水期までに 実施	H29年度						
	1	・事前水防箇所の選定・資料提供								今後の 予定																	
										2												・事前対応の基準作成と役割分担	実施状況	土のう配布等の事前水防活動 について、自主防災組織、消 防団と連携して実施	H28年度	宅地の浸水等に対する水防活 動について、消防団と連携し て実施	随時
今後の 予定																											
22	・関係機関による避難経路の被災状況の情報共有		H, M	(H30年度) 令和7年度	随時	●	●	●	●	実施状況	関係機関の情報共有のため メーリングリスト作成	H28年度	関係機関の情報共有のため メーリングリスト作成	H28年度	関係機関の情報共有のため メーリングリスト作成	H28年度		関係機関の情報共有のため メーリングリスト作成	H28年度								
	1	・関係機関の情報共有方法の策定								今後の 予定																	
23	・関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率 的な水防活動と避難支援を行うための現地点検		M, O, P, Q	(R1年度) 令和7年度	随時				○	実施状況									水防連絡会において技術支援 を実施	毎年							
	1	・水防団の行動計画等の事例提供や技術支援								実施状況											平時の巡視について、行動計画 を策定	H28年度	未実施			水防連絡会において計画策定の 技術支援を実施	毎年
	2	・水防団の行動計画策定・見直し								今後の 予定																	
	3	・現地点検の実施								実施状況											水防活動・消防団と連携して 訓練実施 現地点検：河川管理者との合同 巡視に参加	H28年度	現地点検について、河川管理 者との合同巡視（書面開催） に参加	随時			自治体及び水防団との重要水 防箇所の合同点検を実施 引き続き次年度出水期までに 実施
今後の 予定																											
24	・水防に関する広報の充実（水防団確保に係る取組）		P	(H30年度) 令和7年度	随時	●	●		○	実施状況	『三次市流域治水検討会議』 を設置	R3年度	出前講座等で、流域治水のほ か水防災に関する啓発を実施	随時				水防団募集のポスター・チラシ 作成及び配布	H30年度								
	1	・水防に関する広報の充実								今後の 予定							引き続き次年度出水期までに 実施										
	2	・水防団確保に係る取組								実施状況	水防団確保について、HP等を 通じて充実した広報を実施	H28年度	消防団員（水防団員を兼ね る）の確保のための広報を実 施	随時			水防団募集のポスター・チラシ 作成及び配布	H30年度									
今後の 予定																											
25	・水防団での連携、協力		P, Q	令和7年度まで継続 実施	随時	●	●		○	実施状況	出水時に連携	H28年度	出水時に連携	H28年度				出水時に連携	H28年度								
	今後の 予定																										
今後も引き続き実施																											

減災に係る取組の進捗管理表

具体的な取組の柱		(設定時期) 目標年度	実施予定	実施する機関						状況	三次市		安芸高田市		広島県		広島市		中国地盤								
事 項				三次市	安芸高田市	広島県	広島市	中国地盤	実施内容		時期	実施内容		時期	実施内容		時期	実施内容		時期							
取組内容																											
③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組																											
■ 水防災を意識した防災教育の実施																											
26	・過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催		F, T, U	(H30年度) 令和7年度																							
	1	・過去の災害や他河川の災害事例による広報資料作成		(H29年度) 令和7年度	随時					○	●	実施状況									顕著現象時には気象速報を作成。R5年度は該当なし。	R5年度	H30年災害について、江の川・他河川の広報資料を作成済み	R4年度			
												今後の予定									継続						
	2	・防災講習会の開催		(H30年度) 令和7年度まで順次実施	随時	●	●	○	○	●	実施状況	三次市地域防災リーダー研修会、三次市防災士研修会、出前講座の実施、防災士ネットワークの設立、出前講座の実施	H28年度	防災講演会の実施（消防団、自主防災組織等が聴講）、各団体（地域振興会、自主防災会、学校等）に向けた防災事業の実施	H28年度	広島県防災リーダー研修会、気象防災ワークショップを実施、出前講座	H28年度	江波山気象館との連携によるイベント実施。そのほか出前講座等実施。	R5年度	三次管内で開催されるイベントにて、防災啓蒙活動を実施・防災フェア（三次市）・出前講座 8団体に実施	R5年度						
											今後の予定									継続		今後も引き続き実施					
27	・タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施		V	(H30年度) 令和7年度																							
	1	・訓練事例及び訓練要領作成の技術支援		(H29年度) 令和7年度	随時					○	●	実施状況									R5年度は実績なし	R5年度	江の川上流水害タイムライン～想定最大浸水に備えた訓練動画～訓練ツールを作成し、HP公開・タイムライン検討会で紹介見直しの必要が生じた場合に実施	R4年度			
												今後の予定									継続						
	2	・訓練実施		(H30年度) 令和7年度まで順次実施	毎年出水期前	●	●		○	○	実施状況	水害を想定した災害対策本部運営向上訓練、市内自主防災組織主体訓練の実施促進	H28年度	市内自主防災組織主体訓練の実施促進、自主防災組織連絡会の開催	H28年度			防災機関等が企画実施する訓練に参加	随時	防災機関等が企画実施する訓練に参加・大規模洪水想定訓練（三次市）	R5年度						
											今後の予定									継続		今後も引き続き実施					
28	・地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施		N, O, Q	(H28年度) 令和7年度まで定期的に実施	毎年出水期前	○	○			●	実施状況	消防団等と危険箇所確認	R5年度	消防団等と危険箇所確認	R4年度									重要水防箇所の合同点検を実施、引き続き次年度出水期までに実施	R5年度		
											今後の予定																
29	・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充		T, U	(H29年度) 令和7年度まで順次実施																							
	1	・水害教育の実施		(H29年度) 令和7年度まで順次実施	毎年	●	●	○	○	●	実施状況	市内小学校での防災教育を本格的に実施、市内中学校へは出前講座を実施（随時）	R3年度	市内に存する県立高等学校、市立小学校で出前講座を実施（随時）参考：R5は高校1校、小学校1校	随時	小学校等を対象に出前講座を実施	随時	広島県と連携して実施中。	随時	小・中学生、高校生を対象に川に関する出前講座を実施・8団体に実施（R5年度）防災学習動画の作成	R5年度						
											今後の予定	市主催の洪水想定訓練への参加（個別実施）	R6年度予定					継続		今後も引き続き実施							
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施																											
30	・ハザードマップやタイムラインを考慮した防災ワークショップの開催住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及		T	H30年度から順次実施																							
	1	・事例収集及び技術支援		(H30年度) 令和7年度	毎年						●	実施状況													支援ツール3種（用語集、講習会手引き、説明資料）を作成しHPで公開	R3年度	
												今後の予定													今後も引き続き実施		
	2	・ワークショップの開催		(H30年度) 令和7年度	毎年	●	●			○	実施状況	防災ワークショップについて、広島県と連携して開催	H28年度	地域防災リーダー養成講習会の開催	R3年度									マイタイムライン講習会を三次市と共同実施	R5年度		
											今後の予定													今後も引き続き実施			
31	・水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施		V	(H30年度) 令和7年度まで定期的に実施																							
	1	・事例収集及び技術支援		(H29年度) 令和7年度	毎年						●	実施状況													避難行動啓発動画、電子版ハザードマップ解説動画を作成しHPで公開	R3年度	
												今後の予定															
	2	・防災情報の共有		(H30年度) 令和7年度まで定期的に実施	毎年	●	●			○	実施状況	要配慮者利用施設への防災情報の共有について、避難訓練と併せて実施	R3年度	個別避難計画作成に関する防災情報について、福祉部局と共有、特別養護老人ホームでの防災講話において、防災情報を共有	随時									各市の電子版ハザードマップの操作方法を解説する動画をHPで公開	R3年度		
												今後の予定															
	3	・避難訓練の実施		(H30年度) 令和7年度まで定期的に実施	毎年	●	●			○	実施状況	要配慮者利用施設における避難訓練を実施（出水期前三次市大規模洪水想定訓練）	R3年度	未実施										三次市大規模洪水想定訓練に参加	R5年度		
											今後の予定													今後も引き続き実施			
④異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実・強化																											
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実																											
32	・防災施設の機能に関する情報の充実		B	(R1年度) 令和7年度	随時	○	○			●	実施状況	出前講座等でダムに関する情報を提供	R1年度	出前講座等でダムに関する情報を提供	随時									ダムの目的、操作、効果等について、水防連絡会等の会議を活用して情報提供を実施	R5年度		
											今後の予定		流域地域での出前講座で、土師ダムに関する情報を提供	R6年度									今後も引き続き実施				
33	・ダム放流情報を活用した避難体制の確立			(R1年度) 令和7年度	随時	○	○			●	実施状況	訓練でのダム放流情報（想定）・ホットラインの活用	R1年度	土師ダムからの「緊急放流（異常洪水時防災操作）」に関する通知に対応した、避難指示等の発令基準を設定	R3年度									治水勉強会において避難勧告等の発令判断に資する情報を提供	R5年度		
											今後の予定													今後も引き続き実施			
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実																											
34	・ダム放流警報等の改良・耐水化		Z	(R1年度) 令和5年度	令和5年度までに完了					●	実施状況													ダム放流警報設備の改良・土師ダム15箇所完了・灰塚ダム14箇所完了・ダム放流警報設備の耐水化・土師ダム3箇所完了・灰塚ダム2箇所完了	R5年度		
											今後の予定																
35	・ダム等の洪水調節機能の向上・確保		Z	(R1年度) 令和7年度	毎年					●	実施状況													特別防災操作（適応操作・事前放流）を継続実施	R1年度		
											今後の予定													今後も引き続き実施			
その他：水害後の効率的な復旧・復興のための取組																											
■堤防の復旧を想定した水防資機材の確保																											
36	・堤防の復旧を想定した水防資機材の確保		Q	令和7年度まで継続実施	毎年出水期前	●	●	○		●	実施状況	水防活動を実施するための水防資機材を確保	R5年度	水防活動を実施するための水防資機材を確保	随時	水防管理団体に対する水防資機材確保の支援	H28年度									緊急対策シミュレーションの実施により必要水防資機材の確認、三次管内に水防資機材の確保	R5年度
											今後の予定													引き続き次年度出水期までに実施			
■大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の作成																											
37	・大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の見直し		R	(R1年度) 令和7年度	毎年	○	○	○		●	実施状況	排水ポンプ車による排水可能場所の確認、ポンプ場等での排水状況の確認・見直し	随時	情報提供の依頼があれば実施	随時	未実施									大規模災害を想定した排水ポンプ操作訓練を合同実施（三次市・広島県）	R5年度	
											今後の予定													今後も引き続き実施			
■公益企業との勉強会の実施																											
38	・公益企業（電気・ガス・水道等）との勉強会の実施		T, U, V	(H30年度) 令和7年度																							
	1	・勉強会の開催		(H30年度) 令和7年度	毎年	●	●			○	実施状況	公益企業（電気）と連携した防災フェアを開催、不動産事業者へ水害リスクに関する情報を随時提供	随時	毎年出水期前に、公益企業（電気）と災害後の復旧について協議を実施、不動産事業者へ水害リスクに関する情報を随時提供	随時									勉強会等に必要な技術支援実施	R5年度		
											今後の予定													今後も引き続き実施			